正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

12月号 2021

2021年を振り返って

一向に終わる気配のないコロナ禍によって、紛争地で暮らす人々の生活はますます窮地に追い込まれた2021年。さらに追い打ちをかけるように、気候変動や移民問題など、国境を越えて問題が深刻化し、人々は二重苦三重苦を経験していました。

2021年を締めくくる今号のニュースレターでは、この一年に起こった主な出来事を私たちの活動と交えてハイライトで振り返ります。

【目次】

- ☞ 核兵器禁止条約が発効！
- ☞ シリア人道危機10年
- ☞ 模擬裁判本選で東大が快挙！
- ☞ 被拘束者も人間らしく：京都コングレス
- ☞ 国境なき医師団と初共催イベント
- ☞ 「気候・環境憲章」の採択・署名開放
- ☞ 元フランス代表が称えるヒーロー
- ☞ 家族の絆を紡いで150年：追跡調査局
- ☞ 日本の民間セクターとコラボ！
- ☞ イスラエル VS ガザ 再燃
- ☞ 独立から10年：南スーダン
- ☞ パラリンピックイヤー！
- ☞ 政変後のアフガニスタン
- ☞ 駐日代表部だより

核兵器禁止条約が発効！



2021年１月、51の国と地域が批准したことで、核兵器禁止条約が発効しました。（12月１日現在の批准国は56カ国）特設ページでは、最もアクセスの多かったQ&Aコーナー「なぜ核兵器禁止条約が重要なのか？」や、広島と長崎でそれぞれ被ばくしたサーロ節子さんと下平作江さんへのインタビューなどをまとめています。

特設ページはこちら

シリア人道危機 10 年



総人口約1,800万人のうち、約1,340万人が人道支援を必要としているシリア。特設ページでは、過去10年の変遷と今、そしてシリアの人々の声を届けています。

特設ページはこちら

模擬裁判本選で東大が快挙！



前年に国内予選を通過し、今年３月に香港で開催された国際人道法模擬裁判大会アジア大洋州本選に出場した東京大学チーム。見事準決勝という結果を残した東大チームに、コロナ禍での本選準備にまつわるお話や大会中に印象的だったことなどを聞きました。

インタビュー記事はこちら

被拘束者も人間らしく：京都コングレス



５年に１度開催される「国連犯罪防止刑事司法会議」。人道的見地から収容所や刑務所などを訪問しているICRCは、施設内でのコロナ対策や人口過密問題など、７つのセッションに

リポートはこちら

English report

国境なき医師団と初共催イベント



国境なき医師団と共催した「人道援助コングレス東京2021」。「人道援助の未来――真に、“誰一人取り残さない”ために」をテーマに、シリア危機や、気候変動と紛争など、専門家やジャーナリストを交えて議論しました。

イベントリポートなどはこちら

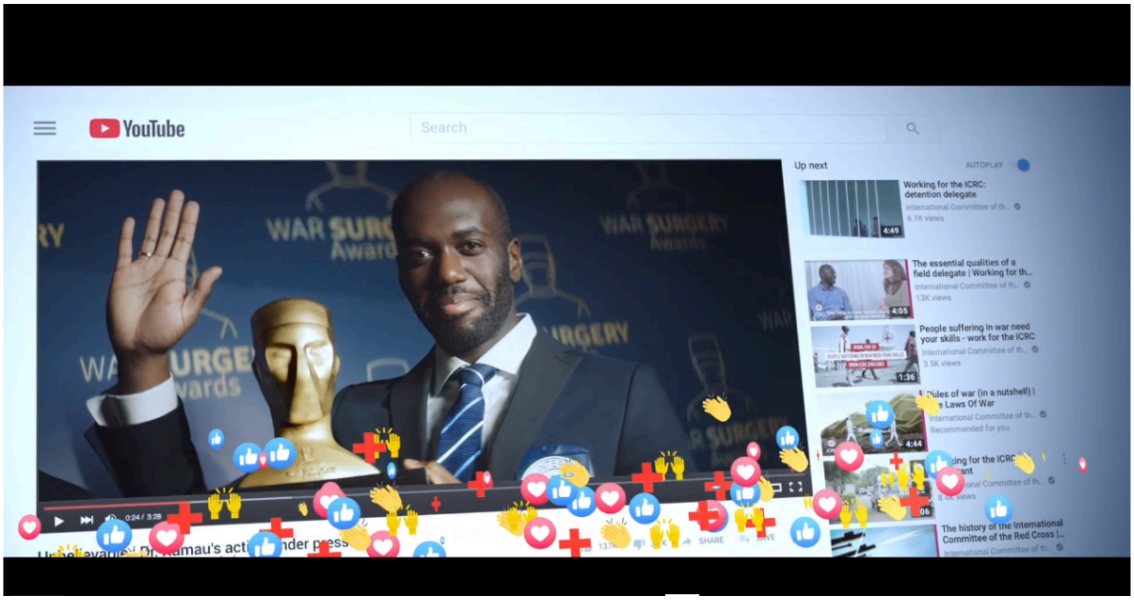
「気候・環境憲章」の採択・署名開放



ICRCと国際赤十字・赤新月連盟は今年５月、「人道団体のための気候・環境憲章」を採択。憲章には人道支援団体が取り組める７つの公約を盛り込み、12月１日時点 で150以上の団体が署名をしています。

憲章についてはこちら

元フランス代表が称えるヒーロー



前回のサッカーW杯ロシア大会で優勝したフランスの代表メンバー、ブレーズ・マテュイディ選手。彼がサインを求める「ヒーロー」とは？

家族の絆を紡いで 150 年：追跡調査局



紛争で離れ離れになった家族をつなぐ私たちの活動は、心のライフラインを修復するのに欠かせません。ICRCは、行方不明の身内を案じる家族やコミュニティーを、一世紀半前から支援しています。

ICRCの“追跡調査”についてはこちら

日本の民間セクターとコラボ！



紛争地の人道問題の解決に日本の技術を活用するため、日本電気株式会社（NEC）とICRCは今年６月に覚書を締結。共同プロジェクトが本格的に始動しました。

NECとのシナジーについてはこちら

その他の産学連携プロジェクトはこちらを

イスラエル VS ガザ 再燃



今年５月に起きたイスラエルとガザの武力衝突。多くの死傷者を出し、町なかも破壊されました。そんな中で、パレスチナの女性たちは障害や困難に立ち向かい、互いに支え合って生きています。

女性たちの物語はこちら

独立から10 年：南スーダン



「南スーダン共和国」が誕生して今年で10年。人々が喜びに沸き、将来に希望を見出したのもつかの間、独立後も戦闘によって日常が破壊され、いまや国民の約３人に１人が故郷からの避難を余儀なくされています。

パラリンピックイヤー！



ニジェールの“ウサイン・ボルト”

アフリカのニジェール代表として、男子100m走でパラリンピックに出場を果たしたイブラヒム・ダヤボー選手。東京大会の感想やコロナ禍で苦労したこと、今後の目標や訪日の感想など、さまざまな思いを語ってくれました。

インタビューはこちら



日本の大学生がみた「パキスタンの障がい者支援」

ョート フィルムフェスティバル & アジアで上映されました。制作は、ヤングリポーター・コンペティションの大賞受賞者、石川奈津美さん。障がいを受け入れて乗り越えようとしている現地の人々の様子や、障がい者を支える民間の取り組みを描いています。

ドキュメンタリー視聴はこちらから

政変後のアフガニスタン



40年にわたる戦争でどん底に追い詰められたアフガニスタンの人々。ジャーナリストの国谷裕子氏をモデレーターに迎えて開催したトークイベントでは、首都カブールの同僚とオンラインで繋ぎ、現地の最新情報や人道ニーズなど、生の声を届けました。

イベントリポートはこちら

アフガニスタンの人道状況とICRCの活動報告について

駐日代表部だより



毎年12月１日～25日まで日本赤十字社がNHKと実施している「海外たすけあい」が今年も始まりました！寄せらせた善意の一部は、毎年ICRCの活動にも活かされています。世界各地の命と尊厳を守り、人々の生きる力を支えるため、ぜひご協力をよろしくお願いします。

NHK海外たすけあいの詳細はこちら（日本赤十字社ウェブサイト）

その他のニュースはこちら

© 2021 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。

